

田口新聞

世帯数 857 世帯
 男 886 人
 女 1,000
 合計 1,886
 (R1.5.31 現在)

たぐちまち

令和1年7月15日 発行
 No. 74 (年度2号)
 発行責任者: 自治会長 飯田邦彦
 編集責任者: 田口町新聞発行委員会
 前橋市田口町461 tel 0272350326

令和元年ほたる祭りによせて

自治会長 飯田邦彦

令和元年度第1回目(通算31回目)のほたる祭りが、6月8日(土)～9日(日)に実施されました。初日は心配された雨も降らず、セレモニーも無事に終了しました。祭り会場には数え切れないほどの老若男女が来場し、美味しい食べ物や冷たい飲み物を提供した模擬店は大盛況でした。

場内の警備には2日間に渡り前橋警察署からパトカーで2人、模擬店の火器取り扱い安全指導には北消防署から3人にご協力いただきました。改めて感じたことは、このほたる祭りは田口町を飛び越えて前橋市の初夏を彩る一大イベントに定着していることです。町民の皆様方はもちろんのこと、県内外からも多数お出でいただいた模様で、開催責任者として感謝を申し上げますと同時に大変身の引き締まる思いでいっぱいです。

今後のほたる祭りが増々発展致しますようご祈念申し上げます。

ホタルの発生数と来訪者数

ホタルの数は昨年の800匹に対し500程度でした。

1年毎のサイクルで少ない年にあたります。

来訪者数は2016年(平成28年)の8700人をピークに下降気味です。今年は6100人余りでした。

2019年		2018年	
県名	来訪者数	県名	来訪者数
群馬	5,747	群馬	6,374
埼玉	209	埼玉	277
東京	129	東京	115
神奈川	26	神奈川	40
栃木	12	千葉	35
長野	7	栃木	11
千葉	7	茨城	10
新潟	6	長野	9
茨城	6	外国	5
ロシア	4	大阪	5
ミャンマー	3	兵庫	2
大阪	2	新潟	2
秋田	1	山梨	2
		北海道	1
計	6,159		6,888

昨年比、県内で627人、県外で102人減少しました。

視覚障がいの方とのほたる観賞

前橋地区でほたると言えば“田口町”、毎年大勢の方々を訪れ、“感動した”との有難いお言葉を頂きます。ほたるの里は観賞路が整備され、車椅子でも観賞できますが、30周年を振り返って視覚の不自由な方達にも楽しんでいただけないかとの思いから、私達に対応できる知識も知見もありませんが、勇気をもって前橋社社へ相談したところ盲学校関係へ連絡を取って頂き、ほたる観賞の案内状を出させて頂く事が出来ました(5月の事です)。

その結果、2組の方々から連絡頂き、ほたる観賞が実現しました。

6月6日

盲学校の直井先生と職員夫妻(先生は弱視で運転不可のため送迎)の3名が来てくれました。直井先生は弱視で正面の視力は弱いですが、両脇の視力はあるのでほたるの飛ぶ光は判るとのことでも感動されていました。(小保さんが腕をくみ案内、途中で私も腕を組ませて頂きました。相手を引いて行くのではなく、相手の動きたい気持ちに合わせるのがエスコートの基本と学びました)

6月13日

工藤さんご家族(視覚障がいのご主人、奥様、4カ月の赤ちゃん、盲導犬)が来てくれました。飯田自治会長と小野坂ほたる会長に挨拶をして頂き、民生委員の小保方さん

(元盲学校の先生)と岩崎で案内しました。工藤さんは視覚が狭く正面のみ(ピンポイント)の視力で、周りが見えないので盲導犬が奥様のサポートで行動、ほたるの里案内所入り口の水槽からカワニナを手に載せ、これが蛍(幼虫)の餌となる貝ですと触感で説明(エツこれを食べるの?)、そして観賞路へ入る。

沢山の蛍が飛んでいましたが、本人は見えません。案内人や奥様の声、他の観賞者の声、手摺や草にも触れ、水の流れも聴き、ほたるの里のイメージを膨らませてくれたと思います。蛍を手に載せてあげると光が見えるみえると喜んでくれました。そして匂いを嗅いで頂いたが匂いは感じられずとの事(私も感じず)、そして観賞中おとなしく座っている盲導犬の脇に立ち、他の観賞者がしっぽを踏まないようにとの自治会長の配慮等もあり、工藤さん家族が、地域の皆様の優しさを感じる「温かいほたる観賞」だったと感謝されていました。(捷男)

令和元年

「田口町ふれあい文化祭」

2年に1度開催している

「田口町ふれあい文化祭」、

今年は実施いたします。

開催日：令和元年11月30日（土）
12月1日（日）

出品作品の準備

出品を予定されている方は、作品の準備を進めてください。日頃から取り組んでいる思い入れのある作品をこの機会にぜひ出品してください。

田口町公民館特設ミュージアムに展示させていただきます。

分散会場、イベント内容は決まり次第、回覧でお知らせいたします。

田口町で昔から使われた方言

以前にも掲載していた田口言葉、今回集大成できたと言うことで何回かに分けて抜粋し掲載します。

選者 青木達夫さんより

私達が子供の頃、お年寄りが集まるとキセルでタバコを吸いながら方言で会話しているのをよく聞きました。

話の内容は「雨が降らないので農作物が育たない」、「降りすぎてこまる」だの、他愛のないことでした。

今では使う人が少なくなっていまい、昔懐かしく田口で使っていた方言を拾ってみました。

アシタナサ	明朝	ウンダラ柿	熟した柿
アイヒョウ	行き違い	ウンマ	馬
アイサ	隙間	ウスラサムイ	肌が悪い
アグ	あご	エーカン	すごく
アブセー	危ない	エンコ	尻をつく
アレー	粗い	オッタマゲル	びっくりする
アンジャネエ	大丈夫	オッカネー	怖い
アマッチョ	女の子	オッカカル	寄りかか
アラッパ	楕形		る
イビー	煙い	オヤゲネー	可哀想
イケル	埋める	オンマケル	捨てて
イッチャン	行くん		空にする
カイ	ですか	オテナタラ	お世辞
イゴク	動く	オセー	遅い
イッポ	ひとつ	オコンジョウ	いじわる
イボクル	すねる	オタクラ	無駄話
イブセー	危険	オオフ	気前が
ウント	たくさん		良い
ウンメル	水を足し	オオゴト	苦労
	温度を	オーカ	あんまり
	下げる	オサンカラ	空っぽ

育成会 花植え

6月22日土曜日、育成会で花植えを行いました。当日は雨が降ったりやんだりと不安定なお天気でしたが、何とか無事に大正用水脇の花壇に色とりどりの花を植えることができました。

お手伝いに来ていた子どもたちは、花植えよりも大正用水からひもを付けたバケツで水をくむ作業が面白かったらしく、靴をピチヨピチヨにしながら何度も水をくみ上げてくれました。

いつまでも花壇を彩ってくれることを願っています。
(芝崎)



梅雨の晴れ間に大歓声！

7月6日、冒険遊び場で

「篠竹鉄砲と流しそうめん」。

流れてくる素麺におよそ50人の子供達が
うわあ、おいしい！

